Imagica Robot Holdings Inc.

NEWS RELEASE

各　位

平成 25 年 11 月 21 日

会　　社　　名　株式会社イマジカ・ロボット ホールディングス
代表者の役職氏名　代 表 取 締 役 社 長　長 瀬 朋 彦
（コード番号：６８７９　東証第二部）
問 合 わ せ 先　取締役常務執行役員 経営企画本部担当　角 田 光 敏
Ｔ　Ｅ　Ｌ　０３－６７４１－５７５０

イマジカデジタルスケープが「外部転進応援パッケージ」のサービス開始

～低価格・低負担の再就職支援サービス～

当社子会社の株式会社イマジカデジタルスケープは、同社の再就職支援事業において、企業にとって低価格・低負担で導入しやすい、「外部転進応援パッケージ」のサービスを本日よりスタートしましたので、お知らせいたします。

当サービスは、ひとりでも多くの社員の方の再就職活動を支援できるように設計されており、インターネット環境があれば、都合の良い時に、都合の良い場所で、再就職活動がおこなえます。

（添付資料　全２枚）

株式会社イマジカデエジタルスケープ　ニュースリリース

『業界初、再就職支援サービスの新しいカタチ　イマジカデジタルスケープ「外部転進応援パッケージ」をスタート』

以上



2013 年 11 月 21 日

報道関係者各位

株式会社イマジカデジタルスケープ

業界初、再就職支援サービスの新しいカタチ
イマジカデジタルスケープ「外部転進応援パッケージ」をスタート

株式会社イマジカデジタルスケープ（本社：東京都渋谷区　代表取締役社長：大林克己、以下：当社）は、当社の再就職支援事業において、「外部転進応援パッケージ」のサービスを本日よりスタートしました。

当社は、昨今のグローバル化、産業構造の変化、少子高齢化、年金と雇用延長の課題、格差社会など、目まぐるしい環境の変化の中で変わり続ける雇用のニーズに対応するため、“人事のトータルソリューション”として、人材紹介や人材派遣、再就職支援、研修、求人メディアなどのサービスを提供しております。

我が国では、バブル崩壊以降、大手企業を中心に、早期退職制度などで従業員の雇用調整を実施し、再就職支援のサービスを導入する企業が増える一方で、その対象は大手企業の正規社員が中心となっています。このため、再就職支援サービスは、全国の求職者の中で僅か 1%程度(3 万人～5 万人)という限定された人だけが受けられるサービスと言われています。中小企業、非正規社員については、費用面において、まだまだ導入が難しい状況にあります。

当社は、再就職支援サービスを企業の人事戦略として、幅広くご活用いただけるよう、「外部転進応援パッケージ」のサービスを開始いたしました。

■「外部転進応援パッケージ」サービス概要

当サービスは、ひとりでも多くの社員の方の再就職活動を支援できるように設計されており、企業側にとっても、低負担、低価格で導入しやすいのが特徴です。また、インターネット環境があれば、都合の良い時に、都合の良い場所で、再就職活動がおこなえます。コンテンツは随時更新しており、最新の再就職ノウハウを提供しています。

1）サービス内容

再就職支援研修 e-ラーニング版

全国求人情報システム「Job-Scape」（会員専用求人データベース）

自己啓発支援サービス

福利厚生サービス

2）価格

社員一人あたり 68,000 円（税別）

当社は、一層のサービスの向上を目指し、これからも再就職、転職に役立つコンテンツを提供してまいります。

＜外部転進応援パッケージに関するお問い合わせ＞
株式会社イマジカデジタルスケープ　人材事業開発室　担当：　西島
TEL: 03-5459-6220　e-Mail : iccinfo@dsp.co.jp

＜当リリースに関するお問い合わせ＞
株式会社イマジカデジタルスケープ　メディアサービス部 プロモーショングループ　広報担当：藤吉
TEL: 03-5459-6203　e-Mail : prg@dsp.co.jp

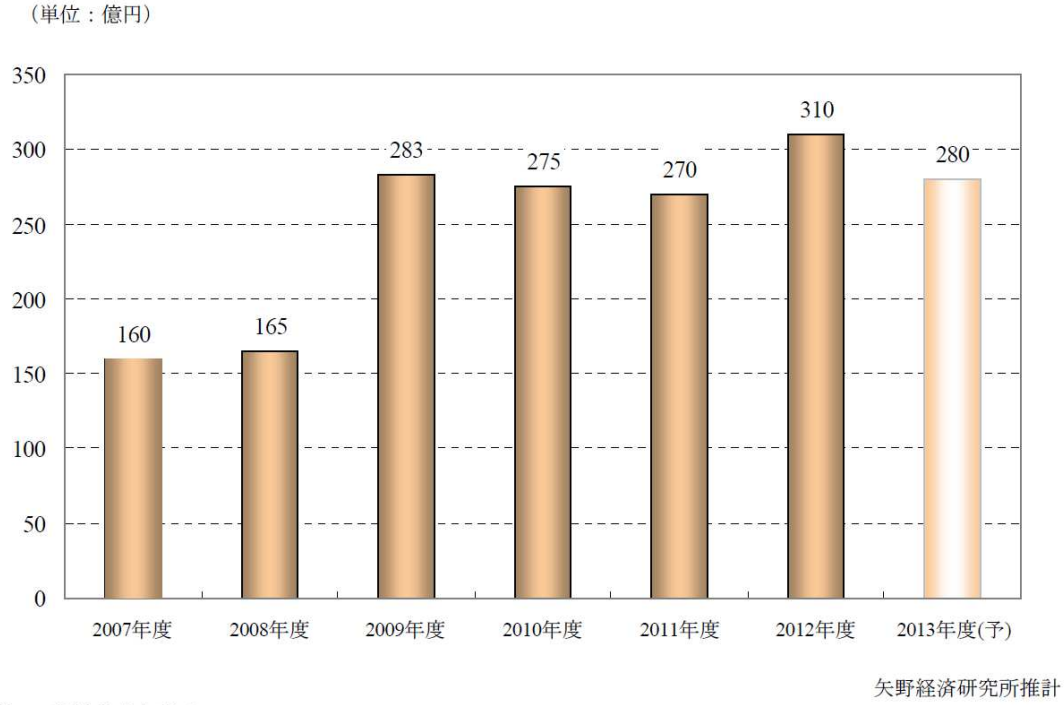
imagica robot group

＜添付資料＞

■再就職支援業の市場規模について

矢野経済研究所の調査によると、2012 年度の再就職支援業市場規模は、310 億円となりました。概して再就職支援業は不況時に利用が伸びるとされていますが、2012 年度の再就職支援業市場はリーマン・ショック後の不況時であった 2009 年度を上回る市場規模に拡大しています。
2013 年度の市場規模は、前年より減少するという予想が出ておりますが、2007 年度からの推移をみてもわかるとおり、再就職支援業の市場規模は、ここ数年拡大傾向にあるといえます。

図 3. 再就職支援業市場規模推移



矢野経済研究所推計

注 7: 事業者売上高ベース
注 8: (予)は予測値

出典：株式会社矢野経済研究所「人材ビジネス市場に関する調査結果 2013」